

平成 27 年度第 2 回富山県環境審議会廃棄物専門部会 議事概要

1 日時

平成 27 年 12 月 24 日（木）午後 2 時から 3 時 30 分まで

2 場所

富山県民会館 701 号室

3 出席者

委員：尾畑専門部会長、加賀谷委員、竹内委員、松岡特別委員（代理：浅野中部経済産業局資源エネルギー環境部環境・リサイクル課長）、岩田専門員、黒田専門員、江田専門員、袋布専門員

事務局：熊谷生活環境文化部次長、杉田環境政策課長、中島廃棄物対策班長、藤谷副主幹、尾川廃棄物対策主査 他

4 内容及び結果

（1）議事

・議事 1 富山県廃棄物処理計画の素案について

事務局が資料 1-1、資料 1-2、参考資料 1 及び参考資料 2 に基づき富山県廃棄物処理計画の素案について説明した後、質疑応答が行われた。また、素案については了承された。

・議事 2 富山県廃棄物処理計画（案）に対する意見募集について

事務局が資料 2 に基づき富山県廃棄物処理計画（案）に対する意見募集について説明した後、事務局案について了承された。

・議事 3 その他

事務局が資料 3 に基づき富山県廃棄物処理計画の改定スケジュールについて説明した後、意見交換が行われた。

5 主な意見、質疑応答

（1）議事 1 関係

[委員等]

35 ページの第 2 節に「1 廃棄物の適正処理の推進」という項目がある一方で 36 ページに「2 不適正処理防止対策の推進」という項目があるが、適正処理の推進と不適正処理防止対策の推進は表裏の関係であるため、一つにまとめたほうが良いと考える。

[事務局]

基本方針の中に、不適正処理防止対策の推進の項目があるため、これに即して、2 つに分けたが、他県の動向も見ながら、内容を再度整理したい。

[委員等]

39 ページの第 5 節②の「廃棄物処理業者の優良化の推進」の項目については、廃棄物処理業者優良認定制度を踏まえたものであれば、第 2 節の「1 廃棄物の適正処理の推進」に入れたほうが良いと考える。

[事務局]

廃棄物処理業者の優良化については、第 2 節と第 5 節の両方に関係する施策である

ことから、第5節にまとめて記載させていただいた。

[委員等]

第5節の見出しを「処理業者の優良化の推進」としているが、環境産業の振興に係っていることがわかる見出しに修正されてはどうか。

[事務局]

承知した。

[委員等]

産業廃棄物協会等の外部機関との連携・ネットワーキングなどについて、県としてどのように取り組んでいるか。

[事務局]

外部機関と連携した取組みとしては、従前から（一社）富山県産業廃棄物協会と適正処理に関する講習会などを開催しているほか、今年度新たに、去る11月に開催した「次世代環境産業シンポジウム」において、先駆的な取組みを行っている方々を県内外から招いて情報共有し、さらに横のつながりも強化を図り、県内企業の海外展開を支援しているところである。

[委員等]

工業技術センターや環境科学センター等の公設試験研究機関の役割が大きいと考えるが、これらとの連携等について計画に記載してはどうか。

[事務局]

環境科学センターの試験研究については、34ページの第1節3や第2節3の「試験研究」として記載している。また、工業技術センターの研究については、盛り込めるような研究等があれば、調整しながら検討したい。

(2) 議事2関係

委員、専門員からの質疑はなかった。

(3) 議事3関係

[委員等]

資料1-2の19ページの表2-9一般廃棄物最終処分場の整備状況については、平成26年度のデータではなく、もっと古いデータではないか。

[事務局]

確認する。